

S級公認審判員候補者審査資料（書式2）個人票記入上の注意点

この書式第2号用紙は、申請者が記入したものを直接日本陸連に提出する書類です。記載例を添付しているにもかかわらず「誤記入」や「勘違い」があり、返送して再提出をお願いしています。

本年度は、本状及び記載例を熟読されて間違いのないようご提出下さい。

1 記入上の注意

- (1) 必ず本人の自筆であること。
- (2) 年月日は、西暦で記入すること。
 - ・ 生年月日
 - ・ 旧第1種取得年月日
 - ・ 講習会受講年月日

2 協会名 (財)北海道陸上競技協会

3 所属 登録している地方陸協名

4 主な審判歴の欄

- (1) 日本陸連カレンダー記載の競技会とする。
(カレンダーは、各協会に配布してあります)
- (2) 記載順は、2015年より上から新しい順に記載し、2011年以前の競技会は記入しないこと。
- (3) 記入競技会は、年2回程度とし、道路競技のみは避けること。
- (4) 審判手帳に記入、押印されていない競技会は、記入しないこと。
- (5) 大会回数のあるものは必ず入れること。
- (6) 同じ審判種別であっても「 // 」として省略しない。

5 審判講習会の欄

- (1) 受講年月日は、西暦（15・14・13・12・11）で記入すること。
- (2) 2015年より2011年までの過去5年間とする。
- (3) 講習会は、競技規則伝達講習会であり、実技講習会は該当しない。
- (4) 年何回受講しても、受講回数は「年1回」とする。
- (5) 日本陸連の会計年度（4月1日から3月31日）に合わせること。
注：10年4月20日と11年3月20日は同じ年度である。
- (6) 場所・講師名が同じでも「 // 」として省略しない。

6 推薦理由の欄

所属陸上競技協会理事長または審判委員長に依頼して記入して下さい。

7 推薦責任者 記入済み